

令和5年度 学長の業務執行状況の確認結果について

令和6年6月24日
国立大学法人滋賀医科大学
学長選考・監察会議

国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議規程第2条第1項第4号及び国立大学法人滋賀医科大学学長選考等実施細則第11条第1項の各規定に基づき、令和6年6月24日開催の国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議（令和6年度第1回）において、上本伸二学長から下記のとおり学長の業務執行状況を確認したので、公表する。

記

【確認概要】

- 日時：令和6年6月24日（月） 15時55分～17時40分
場所：大会議室（管理棟3階）
確認対象期間：令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
確認方法：学長から業務執行状況の報告を受け、質疑・応答を行った。
確認事項：1. 学長就任後の4年間の、特に4年度目の成果について
2. 第4期中期目標の達成状況及び重点的取り組み事項の成果について
3. その他
確認資料：『学長業務執行状況報告（令和5年4月1日～令和6年3月31日）』
－別添1「令和5年度 監事監査結果報告」
－参考1「滋賀医科大学学長像」
－参考2「学長候補者所信表明書（上本伸二）」

【確認結果】

令和5年度における学長の業務執行状況は、「良好」である。

特に以下の点を高く評価する。

- 1) 第4期中期目標・中期計画において年度の目標値を概ね達成するなど、「サステナブルでアトラクティブな滋賀医科大学」の実現に向けて、着実に各種施策を実行し成果をあげている。
- 2) 特に、人材育成のサステナビリティとして、将来の滋賀医科大学の発展と滋賀県の医療を牽引する専攻医のリクルートについて、順調に成果をあげている。
- 3) また、新たに大学院医学系研究科に看護学専攻博士後期課程を設置するなど、看護学に係る研究の拡充と高度人材育成に取り組んでいる。
- 4) 研究においては、AMED 事業「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」をはじめ、競争的資金を含む外部資金の獲得が過去最高額となっている。
- 5) 令和6年度の開学50周年に向けて、学長のリーダーシップの下、各種ステークホルダーとの連携を強化しながら、施設整備や各種イベント等の記念事業を精力的に実施している。

なお、令和6年度以降への要望事項として以下の点を挙げる。

- 1) 第4期中期目標・中期計画のうち、医学科の卒業後の県内就職者数及び初期研修医の募集定員に対する卒業生採用割合について、自ら掲げた目標値よりも低い状況にあるため、参加型臨床実習の充実等をはじめ、目標達成に向けた取り組みを実施されることを望む。
- 2) 所信表明に掲げたハラスメントを生じさせない組織づくりに向けて、開学50周年を機に立ち上げた「人材育成プロジェクト」も活用しながら、「チーム滋賀医大」として、大学への愛校心や帰属意識が高まる取り組みを引き続き実施されることを望む。

以上